

第3回東日本大震災に関する活動助成 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人全日本企業福祉協会
活動テーマ	被災家庭子育て支援学習サポート事業

低学年学習サポート



高学年学習サポート



避難者の親との交流会（住宅支援情報）



東日本大震災支援団体合同チャリティー活動



東日本大震災で被災し、吹田に避難している被災家庭の子育て環境は、震災から一年が経過し、精神的・経済的に避難当初に比べ、これからの生活への不安感（支援の減少、父親不在、母子生活からくる二重生活による経済的ゆとりの減少、大阪市のがれき焼却により被ばく警戒感の高まり、近隣と原発被害について話ができる環境がない等）が増幅し、ストレスが高まっています。これらの状況を解消するため、昨年から実施している学習サポートを定期的に（隔週）に継続することにより、被災家庭の子どもの健全成長をサポートするとともに、親同士又近隣住民との交流の場づくり、情報交換の場づくりやストレスケア活動を地域ボランティアと連携して活動しました。

学習サポート開催案内（開催場所・日時等記載のチラシ）を毎月、吹田市危機管理室から被災家庭に配布いただき、参加希望者はメールで申し込み返信をする仕組みを取っています。一度参加した者には、一週間前にメールに開催案内（開催行事等）を送信し、参加を促します。

定期的な接点は、子ども、学生、親世代、高齢ボランティアと絶妙な家族的な雰囲気づくりに効果があり、それぞれがメール等でつながりができ、それぞれが情報発信・収集出来、サポート側に情報が集積できたことが、誰も知人がいなかった避難場所に多くの友人知人を持てているイメージ作りに役立ったと考えます。

3月10日、J R吹田駅前で、復興支援吹田市民会議（NPO全日本企業福祉協会もメンバー）主催の東日本大震災復興支援チャリティーバザーで学習サポートコーナーを設営し、支援内容のPRを雨の中、学生が自主的に行い、地域の様々なボランティア団体及び地域の住民に広報できました。